

令和6年度

# 第2回

# 代議員会

<http://shochueiken.com/>



岐阜県小中学校英語研究部会

令和7年2月25日（火）

9:45～10:20 [予定]

※9:30よりミーティング開始

zoomによるオンライン会議

※表示名は【所属校 お名前】でお願い致します。

# 第2回代議員会

令和7年2月25日（火）

\*zoomによるリモート開催

時 間	内 容 ・ 会 場
9：30	<p><b>ミーティング開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表示名は【所属校 お名前 （例）関市立下有知中学校 田中大輔】</li> </ul> <p><b>【開始まで】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9：45までは、カメラ OFF・マイク OFF（ミュート）</li> </ul> <p><b>【開始してから】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラは、可能な方は ON・マイク OFF（ミュート）</li> <li>・発言や議決の際は、カメラ ON・マイク ON</li> <li>・トラブルがありましたら、主務者までチャットでお知らせください。</li> </ul> <p><b>【終了後】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会を行います。役員の先生方はお残りください。</li> </ul>
9：45	<p><b>全体会開始</b></p> <p style="text-align: right;">司会【主務者：田中 大輔 関市立下有知中学校】</p> <p>1 部会長あいさつ（5分） <span style="float: right;">【中村 行雄 中津川市立南小学校】</span></p> <p>2 本年度の研究報告（10分） <span style="float: right;">【小学校：松田 洋和 多治見市立北栄小学校】 【中学校：後藤 健一 大垣市立西部中学校】</span></p> <p>3 本年度の事業内容（3分） <span style="float: right;">【石黒 崇人 各務原市立蘇原中学校】</span></p> <p>4 予算、旅費など（2分） <span style="float: right;">【高木 恵子 可児市立今渡北小学校】</span></p> <p>5 来年度の活動について（10分） <span style="float: right;">【田中 大輔 関市立下有知中学校】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ways No.65の配付について</li> <li>・R8岐阜大会、R9東海北陸大会岐阜県大会について</li> </ul> <p>6 その他（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答</li> </ul> <p><b>全体会終了</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会を行います。本部役員、事務局員の先生方はお残りください。</li> <li>・役員以外の先生方は、各自でご退出ください。</li> </ul>
10：20	
10：40	

# 不易と流行～指導と評価の一体化～

松田 洋和

## 1. はじめに

まず初めに、Ways 作成のためにお力添えを頂いた全ての先生に感謝を申し上げます。特に、研究員、研究協議員として参加していただいた先生方につきましては、勤務校の業務もある中で、資料を検討し、何度も練り直してくださいり感謝を申し上げます。資料作成の過程における学びが、先生方ご自身のよりよい教科指導に繋がっていくことを願っています。

現在、岐阜県では、Blue Sky, NEW HORIZON elementary, Here We Go, Junior Sunshine の4つの教科書が採択されています。今年度は、新しい教科書を使う初年度となったため、「指導と評価の一体化」に向けて、到達目標の見直しとパフォーマンステスト作成を行いました。

私自身、「評価」について踏み込むことは少し勇気がいることだと考えています。なぜなら「曖昧さとの闘い」だと考えているからです。「何となく上手くいった。」「何となく児童はしゃべっているから大丈夫。」のように感覚で見届け、感覚で指導していた部分に、「本当に児童に力は付いたのか。」「指導の何がよかったです。」「本当にその指導でよいのか。」と、自分の「感覚」にメスを入れなければいけないからです。一方で、評価について理解を深めていくことで、「感覚」で行っていた指導方法や指導観が整理され、自己の指導に磨きがかかるかと思います。

思い返してみると、平成23年度より小学校高学年で外国語活動が全面実施され、小学校で外国語が教えられるようになって早10年以上経ちました。これまで、小学校部会の先生方のご尽力のおかげで、指導方法や授業の構想、言語活動のアイデア等はたくさん研究されてきています。そんな今だからこそ、評価を深く理解していくことが、小学校外国語をさらに向上させていくチャンスではないでしょうか。

## 2. 新しい教科書を基に

新しい教科書では、どの教科書にも、学習した内容を総括して活用する「まとめの言語活動」が、各学年に3つ（夏休み前、冬休み前、春休み前）位置付いています。どの教科書を見ても、児童の学習到達度を適時パフォーマンステストで測っていくパフォーマンス課題・話題になっています。

一方で、教科書のパフォーマンス課題を分析してみると、目的・場面・状況等を少し工夫すれば、さらによいパフォーマンス課題になることに気付きました。そこで、小学校研究部会では、新しい教科書の学習内容や単元のめざす具体的な発話等を単元毎に確認しました。そして、教科書の学習内容を元にしながら、3観点の正しい捉えを話し合う中で、よりよいパフォーマンステストの在り方を模索した一年となりました。

## 3. 全32回分のパフォーマンステスト案

今年度の小学校部会本編では、第5学年4回分、第6学年4回分のパフォーマンステストを全教科書で作成した全32回分のパフォーマンステストを掲載しています。4回という数は、【やり取り】【発表】を2つずつ作成してあるからです。そのため、作成したパフォーマンステストの中には、教科書にはないタイミングのパフォーマンステストもあります。

また、小学校部会として【やり取り】【発表】と評価したいことを決めながら作成はしましたが、Ways を活用される先生自身で、【やり取り】【発表】どちらを評価したいのかを決め、活用していただければ幸いです。研究員の中に、同じ話題で【やり取り】【発表】を作成した先生もいるように、ご自身で決めた評価したい児童の力に合わせて、本書の内容をご活用ください。

#### 4. 協議会で話題になった3つのこと

小学校の先生方の強みは、児童の興味関心に基づいた授業の構成力・アイデアだと考えています。それは、普段から外国語科だけでなく、他教科も指導しているため、教科を横断的に捉え、児童が今どのようなことに興味をもっているのか、児童の意識を掴むことが大変上手な方が多いからです。

一方で、評価内容や評価方法について、曖昧な部分があり、困っている様子が毎年多く見られました。その理由の一つとして、小学校の先生方の中には、中学校の先生方のように、テストを自作した経験が少ないことが挙げられるのではないかでしょうか。そのため、作成したパフォーマンステストを検討する際には、下記の3つの点について、互いの捉えを何度も擦り合わせながら話し合いを行いました。

- ① パフォーマンス課題の目的や場面、状況等の程度
- ② パフォーマンス課題と期待される児童の発話内容・対話内容との不一致
- ③ 思考・判断・表現を測るためのパフォーマンス課題の在り方

#### 終わりに

今年度、小学校部会では「不易流行」というテーマを掲げて1年間活動を行ってきました。そこに込められた願いとは、一言で言えば、「本質から離れない」ということです。

昨今、ICT機器を効果的に用いた授業等、様々な指導方法を用いた授業が行われています。また、「指導と評価の一体化」という言葉も、よく目にします。しかし、評価の変革を調べてみると、「指導と評価の一体化」は、近年大切にされ始めたわけではなく、実は、平成13年度からずっとと言われ続けていた言葉なのです。教育において形や方法は変わっても、不变的なものがあるということです。つまり、変わらないものこそが教育の本質であるということです。

私たちは外国語科の本質を理解するために、「学習指導要領」や「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」を拠り所としながら指導観、指導方法を整理する必要があります。

ICT機器を使った授業も、個別最適な授業も、数あるうちの方法論の一つに過ぎません。方法が目的化し、目的・目標を達成するための手段に過ぎないことを忘れて自分の実践に自惚れていけないと自省の意味を込めて書かせていただきました。

令和9年度には、東海北陸外国語研究会岐阜県大会があります。そこでは、県外の多くの外国語教師の方々が岐阜県の発表を楽しみにやって来ます。岐阜県小中外国語研究会の皆さんを中心となり、岐阜県外国語教員の皆さんで作り上げる発表が、皆さんの素敵なお学びの場となるよう、本質から離れることなく、現実的且つ革新的なものになるよう、さらに力を合わせて邁進していきましょう。

# 研究の報告

中学校研究部長 後藤 健一（大垣市立西部中学校）

## 1. 令和6年度の捉え

令和3年度に、現行教科書が採用されてから、本研究部では、現行教科書での「指導と評価の計画」の作成と具体的な評価問題の作成をしてきた。しかし、この教科書も、来年度（令和7年度）からは、新教科書へと改訂されることとなる。そこで、今年度は、この3年間の実践を振り返り、来年度からの新教科書での「指導と評価の計画」の作成につなげていく1年とした。その際、令和5年度に実施された「全国学調（英語）」の分析結果や県教育委員会からの「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導改善資料2023」を参考にしながら、授業改善案を検討し、提案してきた。

【令和6年度前後の本研究部の動きと、今後の見通し】

年度	県などの主な動き	本研究部の主な動き
R3	「新学習指導要領」の実施 「現行教科書」の採用	現行教科書での「指導と評価の計画」の作成
R4		評価問題の作成
R5	「県大会（東濃大会）」の開催（3年に1度） 「全国学調（英語）」の実施（4年に1度）	R3～5年度を振り返り、R7年度につなぐ
R6		新教科書での「指導と評価の計画」の作成
R7	「新教科書」の採用（4年に1度）	⇒県大会や東海北陸大会につなぐ
R8	「県大会（岐阜地区大会）」の開催（3年に1度）	
R9	「東海北陸大会（岐阜大会）」の運営・実践発表	

## 2. 本年度の研究の方向

先にも述べたように、令和3年度に、現行教科書が採用されてから、本研究部では、現行教科書での「指導と評価の計画」の作成と具体的な評価問題の作成をしており、来年度（令和7年度）からは、新教科書へと移行することとなる。その具体的な制作物は、下の表の上段にまとめた通りである。

NEW HORIZONについては、全学年・全単元の「指導と評価の計画」と「パフォーマンステスト」の作成が完了しており、残すところは、1～3年の3学期末テストとなる。NEW CROWNは、全学年・全Lessonの「指導と評価の計画」の作成が完了しており、残すところは3年のProject 1～3となる。

【各年度におけるWaysの内容（見通しを含む）】

	NH		NC
	Communicative Activity 部会	テスト部会	
R3年度	指導と評価の計画 1年U1～5 2年U1～7 3年U1～6	パフォーマンステスト 1年U1～11 2年U1～7 3年U1～6	指導と評価の計画 1年L1～8
R4年度	指導と評価の計画 1年U6～11 1～3年Stage Activity 1～3	パフォーマンステスト：抽出単元 期末テスト：1～3年1学期末	指導と評価の計画 1年Project 1～3 2年L1～7

R5 年度	指導と評価の計画・展開案 各学年抽出単元 (1年 U8, 2年 U3, 3年 U5)	期末テスト 1～3年2学期末	指導と評価の計画 3年 L1～7 2年 Project 1～3
R3～5 年度の 実績	完了！ 指導と評価の計画 全学年全 Unit	完了！ パフォーマンステスト 全学年 期末テスト 1～3年 1・2学期 未了！ 期末テスト 1～3年 3学期末	完了！ 指導と評価の計画 全学年全 Lesson 1, 2年 Project 1～3 未了！ 3年 Project 1～3

↓↓↓

R6 年度	指導改善の具体 ・知識・技能 ・思考・判断・表現（内容理解） ・思考・判断・表現（発信）	期末テスト 1～3年3学期末 ※ただし、思判表の問題のみ作成する。	指導と評価の計画 3年 Project 1～3
R7 年度 (案)	・新教科書での「指導と評価の計画」の作成 ・新教科書での評価問題の作成（パフォーマンステストや期末テスト）		

これらを受け、昨年度に引き続き、NEW HORIZON では、1～3年の3学期末テストを作成し、NEW CROWN では、3年 Project 1～3の「指導と評価の計画」の作成を行う。また、NEW HORIZON の「指導と評価の計画」の作成は完了していることを受け、3つのチームで、指導改善の具体を提案する。

### 3. 「指導改善の具体」の提案について

今年度新たに立ち上げる「指導改善の具体」が、どのような意図で、どのような内容の提案をするのかについて述べる。この部会では、「音読練習は、どのようにするのか」といった基本的なことから、「生成 AI をどのように活用するのか」といった発展的なことまで、一つのテーマを決め、具体的な改善策を提案する。

### 4. N/H テスト部会、N/C 指導と評価の作成部会について

昨年までの動きに続き、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの技能において、学習到達目標と各单元の指導内容とのつながりを明確にしたテスト問題の作成をする。ただし、昨年度とは違い、知識・技能の問題の作成はせず、思考・判断・表現の問題のみ作成する。知識・技能の問題は、比較的作成に迷いがなく、思考・判断・表現の問題に関わる提案にニーズがあると考えるからである。

### 5. 本年度の研究を終えて

今年度は、教科書変更の前年ということもあり、汎用性のある提案を心がけて作成してきた。各自の実践をもとに、汎用性のある提案が揃った。また、協議員会では、Ways の作成に留まらず、そこにある具体や考え方を広めることを大切に、Ways 活用に関わるアンケート調査を実施したり、実践交流を実施したりした。

来年度は、新教科書での指導と評価の計画を作成する。令和8年度岐阜県小中学校英語研究部会岐阜大会や令和9年度東海北陸大会を通して、岐阜県の考え方や実践を、県内や県外に広めていけるような活動にしていきたいと考えている。

1年間本部会の活動にご協力いただき、ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

## 学習到達目標（令和5年度岐阜県小中英研作成）

	1年	2年	3年
聞くこと	関心のある事柄や日常的な話題について、はっきりと話されているボイスメッセージや商品の説明などの短い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話されているスピーチなどの内容に一貫性のある英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自然な口調で話されているアナウンスやディスカッションなどの情報量の多い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
読むこと	関心のある事柄や日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた学校生活や物語文などの短い英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたスピーチや説明文、物語文などを挿絵やグラフなどを参考にして読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、世界情勢や歴史上の人物などについて書かれている情報量の多いまとまりのある英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
話すこと 〔発表〕	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いて、即興で話すことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験や他教科などで学習したことに基づいた事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、その理由なども踏まえて、まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え方などに基づいた自分の考えたことや感じたこと、その理由などを、経験したことの例示などとともに、聞き手の理解に応じて繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。
話すこと 〔やり取り〕	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、相手の発話に応じて、関連した質問や意見を述べたりするなどして、対話を継続させながら、即興で伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験などに基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実など、まとまった内容を整理して伝えた上で、伝えた内容に対する質問に応答しながら、対話を継続・発展させて伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え方などに基づいた自分の意見・主張とその理由などを、対話がより継続・発展するよう、聞き手の理解の状況を確認しながら、相手からの質問に対して適切に応答したり、自ら質問をし返したりするなどして、工夫しながら伝え合うことができる。
書くこと	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成したり、読み手に伝えたい内容を整理したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文の順序や内容などのつながりに注意したり、文章構成の特徴を意識したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、話題に対する賛否や自分の意見を述べたり、その理由や根拠を明確に述べたりしながら、内容を整理して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。

# 令和7年度事業部活動計画(案)

2025年2月25日(火) 事業部長 石黒 崇人

## 1. 活動内容

### (1) 第45回岐阜県中学校英語弁論大会(第77回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会岐阜県予選)

- ・日時：令和7年9月27日(土) 【予備日：10月4日(土)】(令和7年2月25日現在)
- ・会場：岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス(〒501-6194 岐阜県岐阜市柳津町高桑西1-1)

### (2) 中学生英語スピーチコンテスト(地区大会)

地区	日時	会場
岐阜	8月19日(火)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス
西濃	8月20日(水)	垂井町立不破中学校
美濃	8月19日(火)	関市文化会館
可茂	8月19日(火)	広見地区センター
東濃	8月19日(火)	瑞浪市総合文化センター
飛騨	8月19日(火)	高山市民文化会館

### (3) 中学生英語スピーチコンテスト(地区大会), 岐阜県中学校英語弁論大会の在り方について

- ・実行委員会の組織をさらに充実させ、本年度の課題克服に取り組み、最大限の成果を發揮できるように改善していく。

## 2. 令和7年度活動計画

4月	・各地区事業部の引き継ぎ(主に中学生英語スピーチコンテストの役割など)
5月	<p>◇第1回代議員会・研究協議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県中学校英語弁論大会及び中学生英語スピーチコンテスト要項の最終確認及び配布</li> <li>・各都市教育研究会研究テーマ等の取りまとめ</li> <li>・岐阜県中学校英語弁論大会の開催要項等配布</li> </ul>
6月	<p>◇第2回研究協議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生英語スピーチコンテストについての検討や確認等</li> </ul>
7月	<p>◇中学生英語スピーチコンテスト準備委員会(岐阜、西濃、美濃、可茂、東濃、飛騨)</p>
8月	<p>○中学生英語スピーチコンテスト(岐阜、西濃、美濃、可茂、東濃、飛騨)</p> <p>◇岐阜県中学校英語弁論大会準備委員会(大会実行委員は全員参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県中学校英語弁論大会打合わせ、岐阜県中学校英語弁論大会原稿集印刷</li> </ul>
9月	○第45回岐阜県中学校英語弁論大会
11月	<p>◇第3回研究協議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生英語スピーチコンテスト、岐阜県中学校英語弁論大会の反省 ⇒次年度の在り方を検討</li> </ul> <p>□第77回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会</p>
12月	<p>◇第4回研究協議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県中学校英語弁論大会・中学生英語スピーチコンテストの引き継ぎ事項の確認、来年度の要項作成</li> <li>・来年度の中学生英語スピーチコンテストについて確認、岐阜県版ワークブックの見直し</li> <li>・Ways of Teaching English 原稿確認</li> </ul>
2月	<p>◇第2回代議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の岐阜県中学校英語弁論大会及び中学生英語スピーチコンテストの方向確認</li> </ul>

## 岐阜県小中学校教育研究会 小中学校英語研究部会

令和6年度 収支決算書

主務者 田中 大輔

監事 白橋 茂樹

橋本 文洋

会計 高木 恵子

## ◆収入の部

科 目	金 額	内 訳
会 費	573,500	¥620×925名
雑収入	17	利息
計	573,517	

## ◆支出の部

科 目	金 額	内 訳
研究大会	報償金	
	会議費	
	旅費	
	消耗品費	
	印刷製本費	
	通信費	
	使用料及賃借料	
研究調査	報償金	
	会議費	
	旅費	
	消耗品費	
	通信費	
	使用料及賃借料	41,250 会場使用料
	分担金	10,000 全英連分担金
成果刊行	図書購入費	
	消耗品費	
	印刷製本費	482,922 Ways of Teaching English
	通信費	21,285 Ways of Teaching English 配送料
	予備費	
	計	555,457

## ◆収支の部

収入	支出	収支
573,517	555,457	18,060

岐阜県小中学校教育研究会

小中学校英語研究部会

事務局

## 令和7年度 予算書

## ◆収入の部

科 目	金 額	内 訳
会 費	573,500	¥620×925名
前年度繰越金	0	
計	573,500	

## ◆支出の部

科 目	金 額	内 訳
研究大会	報償金	
	会議費	
	旅費	
	消耗品費	
	印刷製本費	
	通信費	
	使用料及賃借料	
研究調査	報償金	
	会議費	
	旅費	
	消耗品費	
	通信費	
	使用料及賃借料	40,000 会場使用料
	分担金	10,000 全英連分担金
成果刊行	図書購入費	
	消耗品費	
	印刷製本費	480,000 Ways of Teaching English
	通信費	30,000 Ways of Teaching English配送料
	予備費	13,500 次年度へ繰越分(4月分会場使用料として)
	計	573,500

## ◆収支の部

収入	支出	収支
573,500	573,500	0

## 研究部・事業部の成果と来年度の活動計画案

主務者：田中 大輔（関市立下有知中学校）

### 【令和6年度の研究テーマ】

「できた・分かった」を実感しながら、  
コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて  
～五領域における学習到達目標を明らかにし、  
言語活動の中でその到達を実感させる指導・評価の一体化～

### 1 はじめに

#### 【今年度のキーワード】

## 『来てよかった』と思える小中英研

- 学校に持ち帰り、児童生徒に還元できる提案
- 英語科教員同士のつながりを感じられる交流

今年度における小中英研のキーワードを「『来てよかった』と思える小中英研」として、運営して参りました。Way の作成、スピーチコンテストの開催や授業公開、各都市での研究授業など、今年度小中英研を支えてくださいました関係者の皆様方に、この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

研究部と事業部の活動について、以下に記します。詳細については、各部長より説明いたします。

### 2 研究部の活動

#### 小学校部会

現在、岐阜県では、Blue Sky, NEW HORIZON elementary, Here We Go, Junior Sunshine の4つの教科書が採択されている。今年度は、新しく採択された教科書を使用する初年度となったため、「指導と評価の一体化」に向けて、到達目標の見直しとパフォーマンステスト作成を行った。

#### <パフォーマンステスト作成時に、意識した3つのポイント>

- ① パフォーマンス課題の目的や場面、状況等の程度
- ② パフォーマンス課題と期待される児童の発話内容・対話内容との不一致
- ③ 思考・判断・表現を測るためのパフォーマンス課題の在り方

以上3つのポイントにおける捉え方について、協議を重ね、パフォーマンステストを作成した。評価について、協議を重ねることで、授業における指導についても、何を指導するのかが明確になった。改めて「指導と評価の一体化」について、理解することができた。

## 中学校部会

令和7年度から教科書が改訂されるため、[Communicative Activity 部会] の NEW HORIZON 部会では、汎用性のある提案を行った。NEW CROWN 部会では、3年生 Project 1～3の『指導と評価の計画』を作成し、すべての Lesson, Project における『指導と評価の計画』を完成することができた。

### [Communicative Activity 部会]

NEW HORIZON	NEW CROWN
<指導改善の具体> ・知識・技能 ・思考・判断・表現（内容理解） ・思考・判断・表現（発信）	・3年生 Project の『指導と評価の計画』作成

<指導改善の具体>では、評価の観点別に、知識・技能部会と思考・判断・表現部会に分け、さらに、思考・判断・表現では、内容理解（Input）と発信（Output）に部会を分けて、提案を行った。実践を基に、指導の意図を明記することで、Ways を読んだ先生方が、ご自身の実践に取り入れられるようにしたいという願いをもって、作成した。

### [テスト作成部会]

NEW HORIZON
・学習到達目標と各学年の各単元におけるつながりを明確にしたテスト問題の作成 ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」における『思考・判断・表現』の問題作成

学習到達目標とのつながりを意識したテスト問題を作成した。また今年度は、「思考・判断・表現」の問題のみ提案を行った。理由は、これまでのテスト作成部会に参加した先生方の中から、「知識・技能の問題は、比較的作成に迷いがないが、思考・判断・表現の問題については、作成することが難しい。」という声が聞こえてきたからである。これは、小中英研に参加している先生方だけではなく、岐阜県内すべての先生方も、同じことを感じている先生方がいると考え、「思考・判断・表現」の問題に特化して、提案を行った。

## 3 事業部の活動

今年度、岐阜県教育委員会藤田先生をはじめ、部会長中村校長先生、大会長平田校長先生より御指導をいただき、岐阜聖徳学園大学羽島キャンパスにて開催することができた。

例年の開催方法に倣い、スピーチ原稿集や申込関係書類をデジタル化したり、動画を提出していただいたりと、手続きを簡易的なものにすることで、負担なく進めることができた。また、至学館大学の山田教授に審査員長を務めていただき、より専門的な視点から審査をしていただいた。運営に関わっては、各地区大会及び県大会で御手伝いいただいた先生方や実行委員の先生方の柔軟な対応のおかげで、参加生徒にとって、大変充実した大会を開催することができた。

#### 4 来年度(令和7年度)以降の見通し

- ・R8岐阜大会に向けた準備
- ・教科書改訂(中学校:R7~)
- ・R9東海北陸公立学校英語教育研究会岐阜大会に向けた準備~運営・実践発表~

#### 5 来年度(令和7年度)の活動計画(案)

4月19日(土) 第1回常任委員会及び第1回G長会

5月14日(水) 第1回代議員会(リモート開催)

5月17日(土) 第1回研究協議員会

6月19日(木) 第2回研究協議員会

8月 各地区でのスピーチコンテスト ※R6県統一研究日(8/19・20)

19日(火)岐阜地区 20日(水)西濃地区 19日(火)美濃地区

19日(火)可茂地区 19日(火)東濃地区 19日(火)飛騨地区

9月 6日(土) 英語弁論大会準備委員会(リモート開催)

9月27日(土) 第46回岐阜県中学校英語弁論大会 ※会場は、岐阜聖徳学園大学です。

10月22日(水) 第3回研究協議員会

12月 6日(土) 第4回研究協議員会

1月 5日(月) 第2回G長会

2月25日(水) 第2回代議員会(リモート開催)

※ 日程は、現段階での案ですので、来年度に向けて変更の可能性があります。

※ 4月に常任委員会を開き、令和7年度の研究テーマと研究内容、事業部の活動について、正式に決定します。

#### 5. 令和7年度スピーチコンテスト地区大会及び県大会について【開催予定日】

地区・県	日時	会場
岐阜	8月19日(火)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス
西濃	8月20日(水)	垂井町立不破中学校
美濃	8月19日(火)	関市文化会館
可茂	8月19日(火)	広見地区センター
東濃	8月19日(火)	瑞浪市総合文化センター
飛騨	8月19日(火)	高山市民文化会館
県大会	9月27日(土)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス

## 6 代議員の皆様へお願ひ

- ・代議員の皆様の学校へ届いた Ways は、資料中にあります配付数一覧を参考に各学校へお配りください。
- ・Ways は会員がない学校にも 1 冊配付いたします。
- ・Ways に過不足があった場合は関市立下有知中学校 (0575-22-3179) 田中までご連絡ください。
- ・新年度になりましたら、みなさんの元へ主務者より「新年度の代議員」と「研究協議員」を報告いただくメールが届きます。今年度の代議員である皆様が、期日までに報告いただくようお願いします。異動などで勤務地が変更になる方につきましては、同じ学校内でどなたかに引継ぎ、必ず報告が主務者のところまで届くようにお願い致します。
- ・研究協議員と研究員は、兼務することはできませんので、群市教研等で研究協議員を決定する際は、留意してください。

### 【今後の研究大会(県大会・東海北陸大会)予定】

R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
東海北陸大会申請 県大会申請		岐阜大会	東陸北陸大会			西濃大会

各都市で、代議員や研究協議員は輪番で回しているところもあるかと思います。R8 岐阜大会や R9 東海北陸公立学校英語教育研究会 岐阜大会では、岐阜地区の代議員や研究協議員の先生方に、研究や会場準備等でご協力いただくことがあります。そのため、引継ぎの際に、上記の旨を伝えるようにしてください。

皆様のおかげで、令和6年度における小中英研の活動が成り立ちました。1年間ありがとうございました。

令和6年度 学校別会員数一覧①(会員がない学校にも1冊ずつWaysが届くようにしています)

学 校 名	会員数	学 校 名	会員数	学 校 名	会員数	学 校 名	会員数
岐 阜 小	2	岐 阜 市	岐 阜 清 流 中	2	各 務 原 市	八 木 山 小	1
明 郷 小	2		岐 阜 中 央 中	1		陵 南 小	3
徹 明 さくら 小	1		本 莊 中	1		各 務 小	1
白 山 小	0		梅 林 中	3		蘇 原 第 一 小	1
梅 林 小	3		加 納 中	4		蘇 原 第 二 小	5
華 陽 小	0		長 森 中	7		中 央 小	2
本 莊 小	3		長 良 中	3		那 加 中	4
日 野 小	0		島 中	0		櫻 丘 中	3
長 良 小	1		岩 野 田 中	3		稻 羽 中	3
島 小	2		精 華 中	3		鵜 沼 中	5
三 里 小	7		藍 川 中	2		川 島 中	4
鷺 山 小	1		三 輪 中	1		綠 陽 中	2
加 納 小	2		岐 北 中	3		蘇 原 中	7
加 納 西 小	2		厚 見 中	3		中 央 中	6
則 武 小	4		青 山 中	3		高 富 小	4
長 森 南 小	0		陽 南 中	4		富 岡 小	1
長 森 北 小	1		藍 川 東 中	2		梅 原 小	0
常 磐 小	2		岐 阜 西 中	4		大 桑 小	0
木 田 小	0		藍 川 北 中	1		櫻 尾 小	1
岩 野 田 小	1		長 森 南 中	2		伊 自 良 南 小	0
黒 野 小	0		東 長 良 中	4		伊 自 良 北 小	0
方 県 小	0		境 川 中	5		美 山 小	1
茜 部 小	1		草 潤 中	2		い わ 櫻 小	1
岐 阜 市	鶴 小	2	足 近 小	0	高 富 中	4	
	七 郷 小	0	小 熊 小	0	伊 自 良 中	1	
	西 郷 小	2	正 木 小	2	美 山 中	2	
市 橋 小	2	羽 島 市	竹 鼻 小	3	瑞 穗 市	穂 積 小	4
岩 小	0		中 央 小	5		本 田 小	3
鏡 島 小	0		福 寿 小	2		牛 牧 小	2
厚 見 小	1		堀 津 小	1		生 津 小	5
長 良 西 小	2		中 島 小	1		南 小	1
早 田 小	4		羽 島 中	4		中 小	0
且 格 小	0		竹 鼻 中	5		西 小	2
芥 見 小	3		中 央 中	3		穂 積 中	6
合 渡 小	2		中 島 中	2		穂 積 北 中	5
三 輪 南 小	1		桑 原 学 園	2		巣 南 中	4
三 輪 北 小	2	各 務 原 市	那 加 第 一 小	2	本 巢 市	本 巢 小	2
綱 代 小	1		那 加 第 二 小	3		外 山 小	1
城 西 小	1		那 加 第 三 小	2		弾 正 小	1
藍 川 小	1		尾 崎 小	1		真 桑 小	1
長 良 東 小	4		稻 羽 西 小	1		席 田 小	2
長 森 西 小	0		稻 羽 東 小	1		土 貴 野 小	1
芥 見 東 小	0		川 島 小	1		一 色 小	0
岩 野 田 北 小	0		鵜 沼 第 一 小	3		本 巢 中	2
長 森 東 小	3		鵜 沼 第 二 小	3		真 正 中	3
柳 津 小	3		鵜 沼 第 三 小	2		糸 貫 中	2
岐 阜 大 学 教 育 学 部 附 属 小 中 学 校	6		綠 苑 小	1		根 尾 学 園	3

羽 島 郡

本 巢 郡

大 垣 市

↑会員数0の学校を示しています。  
会員数0の学校には、1部配付致します。

令和6年度 学校別会員数一覧②(会員がない学校にも1冊ずつWaysが届くようにしています)

学 校 名	会員数		学 校 名	会員数		学 校 名	会員数		学 校 名	会員数
海 津 小	1	安八郡	神 戸 中	5	郡上 市	武 儀 小	1	郡上 市	高 鶩 中	2
今 尾 小	2		輪 之 内 中	4		上 之 保 小	0		郡 南 中	2
海 西 小	0		登 龍 中	2		綠 ケ 丘 中	5		明 宝 中	2
石 津 小	1		東 安 中	3		旭 ケ 丘 中	3		郡 上 東 中	2
城 山 小	1		揖 斐 小	2		桜 ケ 丘 中	4		太 田 小	4
下 多 度 小	1		大 和 小	0		下 有 知 中	2		古 井 小	1
日 新 中	4		北 方 小	0		富 野 中	1		山 之 上 小	3
平 田 中	1		清 水 小	1		小 金 田 中	4		蜂 屋 小	2
城 南 中	3		小 島 小	0		板 取 川 中	1		加 茂 野 小	3
養 老 小	2		谷 汲 小	0		武 芸 川 中	2		伊 深 小	1
広 蔵 小	1	揖斐郡	春 日 小	1		津 保 川 中	1		三 和 小	1
上 多 度 小	0		大 野 小	2		美 浓 小	1		下 米 田 小	0
池 边 小	0		北 小	0		牧 谷 小	0		山 手 小	1
笠 郷 小	0		西 小	1		大 矢 田 小	1		西 中	6
養 北 小	0		中 小	1		藍 見 小	1		東 中	8
日 吉 小	0		南 小	0		中 有 知 小	1		双 葉 中	3
高 田 中	4		東 小	1		美 浓 中	3		今 渡 南 小	3
東 部 中	3		温 知 小	4		昭 和 中	1		土 田 小	2
垂 井 小	1		八 幡 小	1		八 幡 小	2		帷 子 小	2
宮 代 小	0		宮 地 小	1		川 合 小	0		春 里 小	2
表 佐 小	2	郡上 市	池 田 小	0		相 生 小	3		旭 小	1
合 原 小	0		養 基 小	3		口 明 方 小	0		東 明 小	1
府 中 小	2		揖 斐 川 中	3		大 和 西 小	0		广 見 小	6
岩 手 小	1		北 和 中	2		大 和 南 小	0		南 帷 子 小	2
東 小	0		谷 汲 中	1		大 和 北 小	0		櫻 ケ 丘 小	1
関 ケ 原 小	1		大 野 中	3		牛 道 小	0		今 渡 北 小	7
不 破 中	5		大 野 分 校	1		那 留 小	0		兼 山 小	3
北 中	2		揖 東 中	1		白 鳥 小	1		蘇 南 中	9
関 ケ 原 中	3		池 田 中	5		大 中 小	0		中 部 中	6
神 戸 小	0		安 櫻 小	0		北 浓 小	0		西 可 児 中	2
下 宮 小	2	加茂郡	旭 ケ 丘 小	2		石 徹 白 小	0		東 可 児 中	2
南 平 野 小	2		桜 ケ 丘 小	1		高 鶩 小	1		广 陵 中	3
北 小	0		瀬 尻 小	3		高 鶩 北 小	1		坂 祝 小	2
福 東 小	0		倉 知 小	3		三 城 小	0		富 加 小	1
仁 木 小	1		南 ケ 丘 小	1		吉 田 小	2		川 边 西 小	1
大 蔦 小	1		富 岡 小	2		明 宝 小	0		川 边 東 小	1
名 森 小	2		田 原 小	0		和 良 小	2		川 边 北 小	1
牧 小	0		下 有 知 小	1		八 幡 中	3		上 麻 生 小	0
結 小	1		富 野 小	0		八 幡 西 中	1		神 測 小	0
			金 竜 小	3		大 和 中	2		八 百 津 小	0
			洞 戸 小	0		白 鳥 中	2		和 知 小	0
			板 取 小	0					錦 津 小	1
			博 愛 小	0					久 田 見 小	0
			武 芸 小	3					白 川 小	0

↑会員数0の学校を示しています。

会員数0の学校には、「部配付致しま

↑会員数0の学校を示しています。

令和6年度 学校別会員数一覧③(会員がいない学校にも「冊子Ways」が届くようにしています)

学 校 名	会員数	学 校 名	会員数	学 校 名	会員数	学 校 名	会員数
蘇原小	0	肥田小	3	苗木小	1	日枝中	2
黒川小	1	泉小	2	坂本小	0	松倉中	4
佐見小	1	泉西小	1	落合小	0	中山中	2
東白川小	0	土岐津中	2	阿木小	1	東山中	3
坂祝中	3	西陵中	2	神坂小	0	丹生川中	1
川辺中	3	濃南中	1	山口小	1	清見中	1
上麻生中	1	駄知中	1	坂下小	0	莊川中	1
神渕中	1	肥田中	2	川上小	1	宮中	1
八百津中	2	泉中	5	加子母小	0	久々野中	1
八百津東部中	2	瑞浪小	4	付知北小	3	朝日中	1
白川中	1	土岐小	1	付知南小	0	国府中	3
黒川中	0	陶小	2	福岡小	0	北稜中	1
東白川中	1	稻津小	0	蛭川小	0	古川小	2
上之郷小	1	明世小	1	第一中	2	古川西小	0
御嵩小	1	日吉小	2	第二中	2	河合小	1
伏見小	1	釜戸小	0	苗木中	2	宮川小	0
上之郷中	1	瑞浪中	4	坂本中	2	神岡小	1
向陽中	4	瑞浪南中	2	落合中	3	山之村小	0
共和中	2	瑞浪北中	2	阿木中	2	古川中	2
養正小	1	中野方小	1	神坂中	2	神岡中	3
精華小	2	恵那北小	1	坂下中	2	山之村中	2
共栄小	1	飯地小	0	加子母中	1	萩原小	1
昭和小	2	武並小	0	付知中	2	宮田小	0
小泉小	4	長島小	3	福岡中	1	尾崎小	1
池田小	1	大井小	0	蛭川中	0	小坂小	0
市之倉小	0	東野小	3	東小	2	下呂小	0
滝呂小	2	大井第二小	1	西小	1	竹原小	0
南姫小	0	三郷小	2	南北小	3	上原小	0
根本小	1	岩邑小	1	山王小	2	金山小	1
北栄小	2	山岡小	0	江名子小	1	馬瀬小	1
脇之島小	1	明智小	1	新宮小	1	萩原南中	4
笠原小	4	串原小	0	三枝小	0	萩原北中	2
陶都中	5	上矢作小	1	岩滝小	1	小坂中	1
多治見中	4	恵那西中	3	花里小	2	下呂中	2
平和中	3	恵那東中	4	丹生川小	0	竹原中	1
小泉中	3	恵那北中	1	清見小	0	金山中	2
南ヶ丘中	3	岩邑中	2	莊川小	1	白川郷学園	2
北陵中	3	山岡中	2	宮小	0	岐阜聖徳学園	0
南姫中	1	明智中	1	久々野小	1	大学附属小学校	0
笠原中	3	串原中	1	朝日小	0	岐阜希望が丘別支援	0
土岐津小	1	上矢作中	1	国府小	1		
下石小	1	南小	4	本郷小	0		
妻木小	2	東小	2	柄尾小	1		
濃南小	2	西小	1				
駄知小	1						

↑会員数0の学校を示しています。

会員数0の学校には、「御配付致しま  
す。」